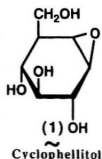


### 3 H2 34

D-グルコースを出発原料とする Cyclophellitol の合成研究  
 (神奈川大学工) 佐藤憲一・奥蔵正之

1. 演者らは、ジクロロメチルリチウムを用いた分枝糖類の簡便な合成法<sup>1)</sup>、および分枝5,6-ヘキソースンを経由する分枝サイクリトール誘導体の効率的な合成法<sup>2)</sup>を確立している。今回、それらの知見を基に、新しいβ-グルコシターゼ阻害剤である Cyclophellitol (1) の新規合成法について検討し、知見が得られたので報告する。



2, 3. D-グルコースより7工程で得た (2) を N-ブロスクシンイミド (NBS) で処理し、プロモ体 (3) を得た。3 をヨード化した後、1,8-ジアザビシクロ [5.4.0] -7-ウンデセン (DBU) で処理し、分枝5,6-ヘキソースン体 (4) を収率56% (from 2) で得た。4 に塩化第二水銀を用いて Ferrier 反応を行い、続いてβ脱離させ、相当するエノン誘導体 (5) を収率86% で得た。5 を NaBH<sub>4</sub>、CeCl<sub>3</sub>·7H<sub>2</sub>O で処理した後、t-ブチルジメチルシリル (TBDMS) 化し、(6) を収率64% で得た。6 を m-クロロ過安息香酸 (m-CPBA) を用いてエポキシ化し、(7) を収率50% で得た。現在、7 から目的物 1 への変換を検討している。

